

【目的】	【施策】	【施策の説明】
監査法人の マネジメント の強化	監査法人の ガバナンス・コード	監査法人の組織的な運営のためのプリンシプルの確立 (職業的懐疑心の発揮を確保するためのリーダーシップの発揮、 運営・監督態勢、人材啓発、人事配置・評価等)
	大手・準大手会社等 の監査を担える 監査法人を 増やす環境整備	ガバナンス・コードの遵守状況についての開示
	ガバナンス・コードの適用による、 大手・準大手監査法人の監査品質の向上	当局と大手・準大手監査法人との 定期的な対話(協議会の設置)
会計監査に 関する情報の 株主等への 提供の充実	企業による 会計監査に関する 開示の充実	有価証券報告書等における、 会計監査に関する開示内容の充実
	会計監査の 内容等に 関する情報提供 の充実	監査法人による情報提供の充実 (監査法人のガバナンス体制や運営状況に係る情報提供等)
	監査報告書の透明化 (監査に際し着目した重要な虚偽記載リスクの説明)	監査品質を測定する指標(AQI)の策定
	監査人の交替理由等に関する開示の充実	審査会のモニタリング活動に係る情報提供の充実 (「モニタリングレポート」の作成・公表等)
	企業不正を 見抜く 力の向上	会計士個人の力量の 向上と組織としての 職業的懐疑心の発揮
不正リスクに 着目した監査の実施		監査基準、不正リスク対応基準、 品質管理基準等の実施の徹底
「第三者の眼」 による会計 監査の品質 のチェック	監査法人の 独立性の確保	監査法人のローテーション制度についての調査の実施
	当局の検査・監督 態勢の強化	審査会の検査の適時性・実効性の向上
	協会の自主規制 機能の強化	審査会の検査と協会の品質管理レビュー との適切な役割分担の検討
	品質管理レビュー等の見直し	監査法人に対する監督の枠組みの検証
	自主規制機能の強化	品質管理レビュー等の見直し
高品質な会計 監査を実施 するための 環境の整備	企業の会計 監査に関する ガバナンスの強化	(コーポレートガバナンス・コードに基づく)各企業に おける監査人の選定・評価のための基準の策定
	実効的な 内部統制の確保	各企業における適正な監査の確保への取組み (監査役会・監査委員会等の独立性・実効性確保と 会計監査人との連携の強化、適切な監査時間の確保、 監査報酬の決定の在り方等)
	監査におけるITの活用	内部統制報告制度の運用と実効性の検証
	その他	協会において検討を継続
		試験制度・実務補習等の在り方の検討